決定した研究助成一覧（2020 年 8 月現在）　　　　　非営利・協同総研いのちとくらし

2004 年度前期
・（共同）米国の医療制度改革と非営利・協同組織の役割（時井聡、青木郁夫、上田健作、髙山一夫）
・（個人）非営利・協同意識の現状（岩間一雄）
・（個人）在宅患者の満足度調査（小川一八）

2004 年度後期
・（共同）ドイツにおける「高齢介護士」の業務の本質に関する議論、並びにその養成・資格制度改革の内容に関する調査研究（髙木和美、岡田澄子）
・（共同）歯科におけるメインテナンス導入による医療・経営構造の抜本転換（藤野健正、他）

2005 年度
・(共同) 北欧における高齢者のグループリビングと住宅協同組合に関する研究 (上野勝代、上掛利博、松尾光洋、奥野修、佐々木伸子、阪上香、加藤雅子)
・（共同）介護・看護労働者の労働者負担軽減を目指した介入研究（垰田和史、佐藤修二、田村明彦、服部真、船越光彦、山田智、北原照代）
・（共同）地域社会の持続的発展と非営利・協同（社会的経済）の実践－スウェーデン・イェムランドと日本・農村地域の事例研究－（Hugosson, Alvar Olof、神田健策、大高研道）

2006 年度
・（共同）歯科メインテナンス 4 年間の(緊急）総括（藤野健正、宮前いづみ、他 11 名）
・（共同）高齢者介護サービス従事者のメンタルヘルス対策に関する研究―努力報酬不均衡モデルによる職業性ストレス調査―（冨岡公子、山元顕太、荒井康友、清水浩二）
・（共同）朝日訴訟関連資料整理とそのデータベース化（NPO 朝日訴訟の会）
・(共同) 京都地域における大学生協の歴史的研究 (井上英之、大鉢忠、太田雅夫、西山功、久保建夫、名和又介、庄司俊作、青木郁夫、杉本貴志)
・（個人）スウェーデンにおける医療ガバナンスの模索―アクセス・質的保障と持続可能な医療に向けた社会的統治の方策を求めて―（松田亮三）

2007 年度
・（共同）介護不安のない安心なまちづくりをめざし介護ロボットなど先端技術を利用した介護支援の研究（細田悟、植田栄一）
・（共同）市民の手による、雇用・社会格差・貧困問題が住民生活に及ぼす影響についての

研究（池上洋通、城田尚彦、妹尾浩也、近澤吉晴、高橋貴志子、前田綾子、大塚恵美子、遠藤めい子、杉山康治）
・（共同）日野市における地域医療の現状と日野市立病院改革の方向(一市立病院改革から見えてくる日本の公的医療のあり方)（杉原泰雄、高柳新、窪田之喜、中谷幸子、榊原和子、吉田忠功、根本守、森川和行）

2008 年度
・（共同）朝日訴訟関連資料（岡山県患者同盟から岡山県社保協へ寄託された）整理とそのデータベース化（NPO 法人朝日訴訟の会・岩間一雄）
・（共同）非営利組織の連携による生活困窮者の「食」の支援に関する基礎的研究（大友康博・大友優子）
・（共同）高齢者に対するバランス・シーティング・アプローチの検証　（細田悟、福村直毅、鈴木亜希子、澤田香奈子、村上潤、上川亨宏、西本伸之）
~~・（個人）「参加と協働」の要素を重視する NPO が福祉サービスの質的側面に与える影響要因に関する研究（保坂良一）~~

2009 年度
・（共同）「福祉国家日本」構築のための現状把握と政策枠組みの研究（後藤道夫、相野谷安孝、安達智則、岡田知弘、木下武男、伍賀一道、進藤兵、関野満夫、高山一夫、中西新太郎、二宮厚美、布川日佐史、世取山洋介、渡辺治）
・（共同）都市と農村が連携した共生経済の可能性の研究（直田春夫、深尾健造、鳥渕朋子）
・（共同）高齢者をひとりで在宅介護する未婚介護者が語る介護労働の意味と困難（久保川真由美、浦橋久美子、山岸千恵）
・（共同）特別養護老人ホーム入居者の生活歴・病歴と入居後の経過に関する調査研究（高木和美、濱島淑恵、芦田礼子）

2010 年度
~~・（共同）グローバリゼーション下の韓国における「両極化」と非営利・協同セクター（文京洙、秋葉武、桔川純子）~~
・（個人）中国農民専業合作社における信用事業の展開に関する一考察（宋暁凱）

2011 年度
・（共同）民間研究所論（川口啓子、藤井渉、鎌谷勇宏、上田早記子）
・（共同）地震・洪水などに対する、千葉県防災基本計画といくつかの市町村の防災基本計画・ハザードマップを検証する（千葉自治体問題研究所・田口正己、八田英之、安田雄二、鈴木正彦ほか）

2012 年度
・(共同）近年の最低生活費の算定方法に関する研究（金澤誠一、加美嘉史、舟木浩、中野加奈子）
・(共同）諸外国における社会包摂志向の医療展開についての研究（髙山一夫、松田亮三、石橋修）
・(共同）社会的包摂を目指す多層支援システムモデルに関する実証的研究―社会的排除の構造分析をてがかりとして―（川島ゆり子、加納恵子、室田信一、奈良公美、片岡哲司）
・(個人）都市部および遠隔地における病院看護労働の構造分析（谷川千佳子）
・(個人）妊産婦・幼児期の子どもをもつ母親の食生活に対する意識に関する研究―東日本大震災前後、及び地域比較―（吉井美奈子）
・(共同）津波被災地保健師（宮城）アンケート・プロジェクト（代表：村口至）

2013 年度
・(共同）名古屋市の一地域での路上生活者の精神疾患の有病率及び心理状況に関する調査（松浦健伸、西尾彰泰、渡邊貴博、早川純午、田村修、関谷修、赤塚秀則、植原亮介、藤田文博、今村高暢）
・(共同）旧日本軍遺棄毒ガス被害実態調査および日中共同の医療支援に関する研究―寒川およびチチハル日中合同検診を通して―（磯野理、吉中丈志、藤井正實、橘田亜由美、鈴木義夫、中川元、金蓮姫、義本ナナ、宮城恵理子）
・(共同）臨床研修医は現場の医師から何を学び人生の糧としているか？～いのちを守るための医療者養成の観点からロールモデル像とその影響の解明～（菊川誠、山口征啓、臺野巧）
・(共同）健康友の会における認知症早期発見健診の取り組み（山田智、渋谷直道、須内君枝）
・(個人）医療保険の都道府県（単位）化の目的と影響　国民健康保険を素材として（川上哲）

2014 年度
・(個人）宮崎県県北地域における子どもの社会的排除と「排除しないまちづくり」の取り組み（志賀信夫）
・(共同）高齢化した団地における住民の福祉ニーズに対する自治会活動の役割と今後の課題に関する調査研究（坂本啓毅、石坂誠）
・(個人）若狭地域住民の原発関連事業所への就業実態と生活問題に関する調査研究―若狭地域の集落別世帯別就業実態調査による、住民と原発の結びつきの把握―　（髙木和美）
・(個人）ホームレス経験を有する生活困窮者のくらしと健康―9 年間の分析（中嶋陽子）

2015 年度
・（共同）特別養護老人ホームにおける多職間連携による円滑な終末期介護を実現するための調査研究　（高橋幸裕、清水佐知子、都留新吾）
・（共同）名古屋市の一地域での路上生活者の精神疾患の有病率及び心理状況と路上生活にいたる因子の解析　（渡邉貴博、松浦健伸、田村修、天笠崇、中谷琢）
・（個人）東日本大震災および原発事故を契機に生まれた「共創」的実践活動の調査―震災・原発事故から社会の再建にむかうヘルスプロモーションの理論構築にむけて―　（谷口起代）
・（共同）非営利・協同体における若手職員の育成および主体形成に関する研究　―鹿児島・麦の芽福祉会に注目して―　（石倉康次、谷口由希子、北垣智基、深谷弘和、申佳弥）
・（個人）児童養護施設職員の労働問題・労働組合に関する研究　（堀場純矢）

2016 年度
・（共同）精神保健福祉領域におけるピアスタッフの役割に関する日米比較研究（相川章子、荒井浩道、濱田由紀、種田綾乃、Mark Salzer、安井直子）
・（共同）非営利・協同の医療組織における人事システムと職員・労働者についての研究（杉本貴志、上掛利浩、川口啓子、庄司俊作、浜岡政好、内藤三義、二場邦彦、若林靖永）
・（個人）地域包括ケアにおける医療生協の位置づけと組合員活動の影響（山下智佳）
・（個人）漁村人口減少対策と非営利・協同組織の機能に関する研究（宮澤晴彦）

2017 年度
・（個人）貧困・社会的排除に抗するソーシャルワークについての研究～権利擁護・ソーシャルアクション・就労支援の視点から～（石坂誠）
・（共同）患者の医療利用を妨げている要因の分析と対策に関する研究（眞木高之、宮本恭子、関耕平、堀西祐多、宮廻英司）
・（個人）身寄りのない低所得単身高齢者の居住の安定確保と生活支援に関する法制度の研究（矢田尚子）
・（共同）有床助産所における子育て支援機能の評価と課題～母親へのインタビュー調査から～（井澤幸、児玉喜郎）
・（個人）カール・ポランニーのイギリス時代における反経済的自由主義思想の可能性の探究（笠井高人）

2018 年度
・（共同）「社会的困難を抱える医療生協組合員の生活実態調査～アクションリサーチを通じて～」（岸本貴士、横山壽一、小林健一）
・（個人）「互酬と再分配の連結を意図する非営利事業組織をめぐる考察～福祉・生活支援を

軸としたマルチステークホルダー型の協同組合型組織（日本・イタリア）の事例をふまえて〜」（田中夏子）
・(個人)「流域再生をめぐる河川政策における住民参画の現状と課題―荒瀬ダム撤去と家地川堰堤を事例に―」（森明香）
・(共同)「社会的連帯経済としての生協・フェアトレードの実践のサステナビリティ―新自由主義・市場経済の下での持続可能性確保の戦略―」（辻村英之、原田英美）
・(個人)「イギリス医療政策への新自由主義の導入と医師の自己教育論の展開についての研究」（柴原真知子）

2019 年度
・(共同)「水道と法の公共性の解明―Flint Water Crisis を手がかりとして―」（稲葉一将、小牧亮也）
・(共同)「ベトナム市民社会研究―公害から住民のいのちを守る非営利組織の活動に着目して―」（吉井美知子、Tran Dinh Lam、Thanh Phan、木口由香）

2020 年度
・（共同）「介護事業所に求められる職員研修のあり方に関する調査研究」（川口啓子ほか）
・（共同）「訪問介護・看護現場における介護職、看護師、福祉職の新型コロナウイルス対策と課題に関する実態調査―職業的脆弱性の克服に向けて―」（高橋幸裕ほか）
・（個人）「看護学科の地域枠入試制度における現状分析と提言」（福山祐介）